



昭島市長

白井 伸介

## 市民の皆様へ

近年は必ずと言っていいほど、出水期を迎えると、全国各地で線状降水帯や台風による浸水、土砂災害などによる大きな被害が報告されております。

昭島市は南に多摩川、東に残堀川が流れ、豊かな水と緑に恵まれている一方、自然災害への警戒は欠かせません。「令和元年東日本台風」では、多摩川河川敷等の公共施設に被害を受け、市内26箇所に避難所を開設し、計1,137名もの避難者を受け入れました。また、国でもこの台風を受けて、避難勧告と避難指示(緊急)の避難情報が一本化されるなど、災害対策基本法の改正が令和3年5月に行われたところです。

いつ起こるか分からない巨大地震や激甚化する気象災害から市民の皆様  
の生命及び財産を守るためには、本市の力だけでは限界があり、市民の皆様  
一人ひとりが災害に備えていただくことが大変重要であると考えております。

この『昭島市防災ガイドブック』では、本市で起こりうる様々な災害に対して  
の事前の備えや行動等の情報をまとめております。いざというときのため、自宅  
付近の災害の危険性を認識し、適切な防災行動に結びつけられるよう、ぜひ  
普段から見るところに置いておき、定期的に確認していただければ幸いです。

## 昭島市における自然災害等の近年の動向と今後

地震においては、今後30年以内に南関東で直下型大規模地震が発生する確率は70%とされています。併せて、本市においては、立川断層帯地震で震度7が想定されており、地震に対する取り組みが必要です。

また、水害については、令和元年東日本台風の場合のように、近年の台風の大型化に向けた取り組みも必要になってきています。

さらに、このような自然災害の中で新型コロナウイルス等の新たな感染症にも対応した災害対策も必要となります。

大規模な災害がいつ起こるか分からない今、一人ひとりの防災意識の向上が求められています。

### ガイドブック の 活用方法

令和2年6月に全戸配布しました『昭島市洪水・土砂災害ハザードマップ』、及びこの『昭島市防災ガイドブック』に差し込んである『昭島市水害(内水)ハザードマップ』をご確認いただき、自宅付近の災害の危険性を確認しましょう。

普段から災害の危険性を認識しつつ、この『昭島市防災ガイドブック』で、事前の備え(自宅の安全性の確保、備蓄品の確認、避難場所の確認等)と災害発生時の行動について確認しましょう。

あわせて、国や東京都等の防災関係機関が発信している防災に関する情報も掲載してありますので、ぜひご活用ください。

#### ●東京くらし防災




<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1005427/index.html>

#### ●東京防災




<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1002147/index.html>